

発刊にあたって

は共に涙しながら、 員から寄せられた「手記」を、 L んでいるのかの一端が現れているほか、個々の犯罪被害者に真摯に向き合い、時に により精神的被害など多くの被害に苦しめられます。 から回復し、 ている警察職員の姿が記されています。 犯罪被害者は、 ここに収めた手記には、犯罪被害者がどのような状況に置かれ、どのように苦し この冊子は、全国警察の第一線において、 再び平穏な生活を営めるようになるためには、 犯罪による直接的な被害だけでなく、その後に生じる様々な問題 犯罪被害者の立場に立ってその様々なニーズに応えるべく努力 警察庁犯罪被害者支援室がとりまとめたものです。 犯罪被害者の支援活動に当たる警察職 犯罪被害者が、こうした被害 様々な支援が必要です。

0 理解の一助となることを願っております。 この冊子が、犯罪被害の実情や犯罪被害者を支援することの重要性などについて

平成二十八年三月

警察庁長官官房給与厚生課長 坂口 拓也

彼女が言った「こんなこと」 警察本部勤務

次

女性

1

犯罪被害者

あるおばあちゃんとの出会いから

警察署勤務

巡査部長

男性

11

泥だらけの手

警察署勤務

警部補

女性

警部補

巡査部長 女性

15

警察署勤務

※警察では、 全国統 そのほか、 一の相談専用電話 巻末のとおり、 性犯罪、 少年、 「# (シャープ) 九一一〇番」により受け付けて 警察本部において個別の相談電話を設けています。 悪質商法、 暴力団、 交通事故等に関する相談に います。 ついて、

※手記の編集に当たりましては、 被害者の方又はご遺族のご了承をいただいています。

彼女が言った「こんなこと」

警察本部勤務 警部補 女性

これは、被害に遭った十代の女性A子さんの言葉「こんなことになるなんて思わなかったんです。」

です。

知ってもらいたいと思い、この手記に記すことにしこの言葉に詰まった切実な思いを、多くの方々に彼女が言った「こんなこと」という言葉の意味。

私がA子さんに出会ったのは、被害から五日後の

ことでした。

ました。

うにして背中を丸め、両腕で両膝を抱え込むように説明している間、A子さんは、終始肩をすくめるよる犯罪被害者支援、民間被害者支援団体等について子さんとお母さんに、刑事手続の流れや、警察によ

| ていました。 | 座り、伏し目がちに黙り込んだまま、私の話を聞い

私の話が終わると、A子さんのお母さんが私に「刑私の話が終わると、A子さんのお母さんが私に「刑事さん、この子が車に乗ったんです。」と言いました。 事さん、この子が車に乗り込んだところ、連れ回 自らトラックの助手席に乗り込んだところ、連れ回 され、キスをされそうになるなどの「わいせつ誘拐・ され、キスをされそうになるなどの「わいせつ誘拐・ され、キスをされそうになるなどの「わいせつ誘拐・ で、建設会社名が記載されたトラックに乗車した男 でれ、キスをされそうになるなどの「わいせつ誘拐・

と思われる方も、少なからずいらっしゃるのではなより、その日のうちに加害者の逮捕に至りました。この被害について、皆さんはどう思われますか。の男が運転する車に乗ったのか。A子さん自身が防の男が運転する車に乗ったのか。A子さん自身が防犯意識を持って被害に遭わないよう注意すべきだ。」と思われる方もいれば、「なぜ見ず知らずれ意識を持って被害に遭わないよう注意すべきだ。」と思われる方も、少なからずいらっしゃるのではなと思われる方も、少なからずいらっしゃるのではなと思われる方も、少なからずいらっしゃるのではない。

いでしょうか。

があります。 なぜ、A子さんが車に乗ったのか、それには理由

A子さんのお父さんは、建設会社を経営されてい

いました。

ました。

み、道案内をしたのです。という気持ちから、トラックの助手席に自ら乗り込たそうです。そして「困っている人を助けたい。」たそうです。そして「困っている人を助けたい。」と思っ取引先の人かな。お父さんの知り合いかな。」と思っ乗車した男を見て、A子さんは「お父さんの会社の乗車した男を見て、A子さんは「お父さんの会社の

これでも、A子さんに落ち度があったのでしょう

私は、そうは思いません。

か。

にあるでしょうか。 に取って加害行為を加えた加害者が悪いという以外 A子さんの純粋な親切心につけ込み、それを逆手

しかし被害直後、A子さんは、周囲の人から「な

が車に乗ったから。」という自責の念にとらわれてとでしょう。」等と問い質され、A子さん自身も「私ぜ知らない人の車に乗ったの。」「子供でも分かるこ

ことを伝えたのです。 私は、お母さんからの一言を聞き、悪いのはA子 私は、お母さんからの一言を聞き、悪いのはA子

言いました。「こんなことになるなんて思わなかったんです。」と「こんなことになるなんて思わなかったんです。」と

という、苦しい胸の内でした。という、苦しい胸の内でした、夢にも思わなかった。」害に遭うことになるなんて、夢にも思わなかった。」の名子さんが私に言った、初めての「こんなこと」。

人を信じることへの不信感が伝わってきて、私は胸A子さんが話す一言一言から、悲しさや悔しさ、

が締め付けられる思いでした。

「協力してくれてありがとう。」と伝えました。繋がったことを、何度も何度も説明し、A子さんに協力してくれたからこそ、いち早く加害者の逮捕に協力してくれたからこそ、いち早く加害者の逮捕にいるは、誰が何を言おうと、悪いのは加害者だとい

きることを頑張ります。」と、捜査に協力する決心顔に表情が芽生え、はにかむような笑顔で「私にですると、少しずつではありましたが、A子さんの

を語ってくれたのです。

的負担以外の何者でもなかったに違いありません。次々と自分の身に降りかかる出来事は、心労と精神に亘る検察庁での事情聴取、反省の色が見えず否認に亘る検察庁での事情聴取、反省の色が見えず否認のに近の頃のA子さんは、大学生になって新生活を始

心配されたでしょう。き添ってくださったご両親も、どれほどA子さんを

A子さんの状態を身近で見守りながら、送迎に付

こうして、いよいよ起訴、不起訴が決まる時がやっない。」という一心で捜査に協力してくれました。じような思いをする被害者がこれ以上増えてほしくそれでも、A子さんは「相手を許せない。私と同

めて高い状況になりました。公判になれば、A子さんが証人出廷する可能性が極い害者は一貫して否認を続けており、起訴されて

てきました。

にA子さんの氏名を知られることについて、強い不害者から逆恨みされるのではないか。」と、加害者いました。また、インターネットで氏名検索をすれば、A子さんが通っていた習い事や学校のホームは、A子さんのご両親は、A子さんの名前がめずら

安を感じておられました。

じておられたのです。探し出されるのではないか。」との不安も併せて感来の住宅で、周りに民家が少ないことから「自宅をまた、A子さんの自宅は県内の山間に位置する旧

たで思わなかった。」と言いました。 おりとした口調で自分の思いを伝えてくれました。 おりとした口調で自分の思いを伝えてくれました。 はない。だから告訴の取り下げはしません。」と、ハッせない。だから告訴の取り下げはしません。」と、ハッ

A子さんは、一つ一つ、ゆっくりとした口調で

- ・・・・ 子供の頃から「事件や事故に遭った時や、困っ
- ちでいたこと。と無事に帰ってこられて良かった。」という気持と無事に帰ってこられて良かった。」という気持い、今回、自分自身は「車に乗って連れ回されたけ

- ・ 念のために警察に通報しておこうというぐらい の気持ちで、警察に言ったことが、「わいせつ誘拐・の気持ちで、警察に言ったことが、「わいせつ誘拐・
- て、夢にも思っていなかったこと。出、検察庁での事情聴取や公判での証人出廷なんのに、警察で長時間に及ぶ事情聴取や証拠品の提警察に通報すればそれで終わりだと思っていた

を私に話してくれました。

もみなかったという戸惑いの気持ちだったのです。大変で、苦渋の決断に追い込まれるなんて、思って時には警察に言う。」ということが、こんなにも辛く、時には警察に言う。」ということが、こんなこと」。 A子さんが言った二回目の「こんなこと」。

警察に言う。」と教えてもらっていますが、その後誰でも、子供の頃に「事件や事故に遭った時には

A子さんの話を聞いて、私ははっとしました。

のことについて、誰かに教えてもらうことがあるで

の後のことについてどれだけ理解しているでしょうことがあったから警察に届出をした。」だけで、そほとんどの被害者が、A子さんのように「困った

か

しに十分な捜査を尽くすことはできません。重要な任務としています。しかし、被害者の協力な重要な任務としています。しかし、被害者の協力な

これが、捜査をする上での礎であり、何よりも大被害者に対して、説明を尽くして理解を得ること。

こと」があります。 最後に、A子さんが私に言った三回目の「こんな 切なことではないでしょうか。

ぐらい強い気持ちを持っていたなんて、自分でも気に気持ちを伝えた後「私、こんなことを決心できるそれは、告訴の取り下げをしないと決めて、検事

ました。

づかなかった。」という言葉でした。

はありません。
被害者にとって、加害者が検挙されれば終わりで

| はありません。

十代で、正面から加害者と向き合ってくれたA子

さん。

下げない。」という強い決断だったのです。のこれからの人生を考えた末に出した「告訴を取り分と加害者だけでなく、自分の周りの大切な人たち彼女が最後に言った「こんなこと。」。それは、自

感情と闘ってきたA子さんに、私はただただ「あり恐怖や不安、悔しさや正義感といったたくさんの

そんな私に、A子さんは「お父さんやお母さんががとう。」と伝えることしかできませんでした。

少し照れくさそうに「ありがとう。」と言ってくれれて『私が悪くない。』って言ってくれたから。」と、支えてくれたから。それに、○○さんが家に来てく

はA子さん自身だったのです。たくさんの選択を迫られ、葛藤の中で決断したの

 私はただ、純粋な親切心を裏切られて被害に遭ったA子さんに対して「できる限りA子さんの意思を 等重したい。寄り添いたい。」という気持ちでした。 をれでも、彼女にとっての支えになれていたのなら、これほど嬉しいことはありません。 ら、これほど嬉しいことはありません。
 なが言った三回の「こんなこと」は、それぞれば女が言った三回の「こんなこと」は、それぞれるかでが言う意味を持っています。この言葉に詰まったたく



犯罪被害者

警察署勤務 警部補 女性

罪被害者に接すること」の難しさを再認識させられ 私 が警察本部刑事部で勤務をしていた当時「性犯

た事件に遭遇しました。

み強姦した、 この 酩酊状態に陥 事件は という事件です。 睡眠作用を有する薬物を飲料物に溶 った被害者をラブホテ ルに連れ込 か

た。

者に好意を寄せて 被害者と被疑者は友人関係にあり、 いました。 被疑者は被害

たこと、 ている、ということだけでした。 た記憶ではべ 被害者は薬 性的な接触をされ、 ッドの の作用で断片的な記憶しかなく、 あるホテルのような場所に行 その感触を今でも覚え 残 つ つ

「夢であって欲しい。」と、 被害者自身は記憶が断片的で鮮明でないことから 事実で無いことを強く望

> 害が現実のものであることが裏付けられました。 んでいましたが、被害者の尿を採取して薬物検査を したところ、 催眠作用を有する薬物が検出され、 被

ぐに被害届の提出を受け、 ことになり、 伝える際に、 いせつ目的誘拐・準強姦容疑事件として捜査に入る 当初の捜査予定では彼女に検査結果を伝えたらす 警察本部では薬物検査結果を経て、 初めて彼女に接触しました。 私は被害者の担当となり、 捜査を開始する予定でし この事件をわ 検査結果を

を憎んでおり、「こんな悪い奴はなんとしても逮捕 しよう。」という気持ちでいました。 私は警察官としても、一人の女性としても性犯罪

さい。」と言うと思っていました。 が当たり前に被害届を出して、「犯人を逮捕して下 の提出について説明したのですが、 被害者に対し検査結果と今後の捜査方法、 当時の 届け出につい 私 は彼女 被害届

しかし、予想外に彼女は黙り込み、

7

んでした。 ても躊躇している様子で前向きな言葉は得られませ

断をできずにいる様子でした。しかし、彼女はとても苦しそうに悩んでいて、決強く、彼女に被害届を出すように説得を続けました。私は「早く犯人を捕まえたい。」と思う気持ちが

被害者になりたくない。」と言いました。 そして、やっと口を開いたかと思うと、一言「・・・

私は女性警察官として沢山の性犯罪被害者と接しその言葉を聞いて、私は「しまった。」と思いました。

てきました

気持ちを上回ってしまい、性犯罪被害者の気持ちをく犯人を捕まえたい」という気持ちが被害者を思う動するように心がけていたはずなのに、この時は「早動するように心がけていたはずなのに、この時は「早その中で、 いつも被害者の気持ちを先に読んで行

い」という気持ちを強くもっています。性犯罪の被害者は誰しもが「誰にも知られたくな

見ようとしていなかったのです。

害者」と認める事が難しいのです。

それ故、頭では理解できていても自分自身を「被

欠き彼女の気持ちを見ようとしていなかったのです。いることは容易にわかったはずなのに、私は冷静さをの被害者になることを認めたくない気持ちの狭間によく考えれば、彼女が犯人を憎む気持ちと性犯罪

人の女性としての意見を彼女に話しました。に説得することをやめ、警察官としての意見と、一私は、彼女の言葉を聞き、私は被害届を出すよう

責めはしない。ただ、後悔をする選択はしないで欲害届の提出はもちろん必要だし、捜査の協力もして 書届の提出はもちろん必要だし、捜査の協力もして でくて、このまま被害届を出さないと言ってもの すごく負担だと思う。あなたがその負担に耐えられなくて、このまま被害届を出さないと言ってもの でもの でいる。その為には被

るとまた目線を下げました。彼女は私の方をまっすぐ見て話を聞き、話が終わ

をできないでいました。 それから、また時間が経ちましたが、彼女は決断

だと確信しました。が被害者として警察にいることが理解できないからは、相手の男を許すことができない気持ちと、自分は、相手の男を許すことができない気持ちと、自分

てみませんか。」と伝えました。
もいいんじゃないですか。それまでは一緒に頑張っらいの負担になるようだったら、その時点でやめてよって、あなたがあなたとして立っていられないく支える制度も整っています。被害届を出すことに支えを制度も整っています。でいます。被害届を出すことに

した。目ががに向き、その目から大粒の涙がこぼれ落ちま目が私に向き、その目から大粒の涙がこぼれ落ちますると、それまで机の一点を見つめていた彼女の

人間関係や仕事関係など、彼女の生活が今回の被します。」との声を漏れる様に出したのです。そして、消え入りそうな小さな声で「・・お願い

歩を歩み出した瞬間だったと思います。と戸惑いの中にいた彼女が、この時、自分自身で一害で激変してしまうことが予想され、将来への不安

捜査に同行させる等しながら捜査をすすめ、被疑者でき、被害者支援室と連携して心理カウンセラーをその後は、彼女の全面的な捜査協力を得ることが

を検挙することができました。

辛い日々が続くことになります。こからが、新聞やネット報道、検察官による聴取等、たように思える瞬間ですが、被害者にとっては、そ「被疑者の検挙」は、警察として目的を達成でき

きな負担でした。かとなり、その事実を受け入れることが彼女には大状態で記憶が無かったことが被疑者の取調べで明らいとなり、の事を受け入れることが彼女には大いとなり、その事実を受け入れることが彼女にのいては、被害者自身が酩酊

げました。

私は心理カウンセラーと共に彼女の元へ足を運

話したこともありました。夜に彼女から電話がかかってきて数時間にわたり

て下さいね。」と話してくれました。
た。私、もう大丈夫な気がします。これからも頑張っなたが私の担当で本当によかった。本当に心強かった。私、もう大丈夫な気がします。これからも頑張っなたが私の担当で本当によかった。本当に心強かっなたが私の担当で本当によかった。本当に心強かった。私、もう大丈夫な気がします。

を祈りました。の時、私は精一杯頑張れたな」と思って貰えること何年か経って、被害の傷が少し癒えてきたときに「あ私はうれしさから胸が熱くなり、彼女がこれから

です。 が早い段階で協力し、チームとして対応できたことが早い段階で協力し、チームとして対応できたこと

者支援センターの支援員が被害者を検察庁へ送り迎支援員に動いて貰ったり、被害者支援員と民間被害捜査員である私が動けない時に警察本部の被害者

することができました。

とってはとてもありがたいことでした。者が話す時間を十分にとってくれたことも、私達にまた、上司が被害者支援に理解があり、私と被害

は業務上難しいことです。立ち直るまで一人の警察官がずっと支え続けることが害者支援は警察の重要な業務ですが、被害者が

体制も整備されてきました。や被害者支援に関する警察の体制の他、各種団体のやのことについてやっと社会の理解が深まり、今

者として、その時にできる最善の努力をしていくこ私たち警察官は被害者の悲しく辛い過去に関わる

とが責務であると思います。

張って行こうと思います。

今後も被害者に寄り添う気持ちを大切にして頑よかった。」という言葉を貰い勇気づけられました。私自身も、彼女から「あなたが私の担当で本当に

あるおばあちゃんとの出会いから

警察署勤務 巡査部長 男性

少し回り道をして立ち寄る場所がある。私は休日、買い物などでA市内へ遊びに行く時、

市街

地から離れたその場所は、

アーケードの名残

れ、気持ちを新たにしている。

こに ~ て、ゴミ箱のようになっていた。 ンターがぽつんと一つ置かれているのである。 の鉄骨と、 ッ 近くまで歩み寄ったところ、プランターの **|** は道路 ボ トルやお菓子の空き袋等が投げ入れられ 古い看板 の脇に灰色の が目に付く商店街 コンクリートでできたプラ の 一 角で、 中は そ

して目を閉じた。 箱に捨て、あらためて「その場所」を振り返り、そトルを一本拾って近くの自動販売機の横にあるゴミトルを一本拾って近くの自動販売機の横にあるゴミーをは少し寂しい気持ちになり、そこからペットボー

プランターには季節の花が植えられており、その

もがんばってくださいね。」という声に背中を押さびに、この女性の事を思い出し、女性の「これから気ですよ、ありがとう。」と返事を返してくれる。性の姿がある。私が話しかけると、その女性は「元近くには水やりや草抜きをしている一人の高齢の女近くには水やりや草抜きをしている一人の高齢の女

八十歳くらいの女性が力なくうずくまっていた。あり、至急現場に向かえ。」急を告げる無線指令。私はあわてて机上の書類をまとめて、交番を出た。私はあわてて机上の書類をまとめて、交番を出た。のったくりの発生、被害者は高齢の女性、転倒

女性は、「家がすぐそこなので、いったん家で落

うしたらいいのでしょうか。」と力なく答えた。

んが、お金を全部持って行かれました。これからど

私の問いかけに、

女性は力なく「怪我はしていませ

「大丈夫ですか?お怪我はありませんか。」

という

歩いてマンションの一室まで行った。 ち着きたい。」というので、私は女性に付き添って|

時 0

私

の頭の中は、「まず状況を聞

手配、 宅についてからも女性をせかすように次々と矢継ぎ 事件処理に必要な書類や手続きのことで一杯で、 次に 被害届、 被害者の調書もいるな。」 いて事件 ٤ 自

を得たところで女性から いへんやねぇ。」と声をかけられた。 最後に、 作成した調書を読み聞か 「おまわりさん せ、 署名と押印 の仕事もた

早に質問をしていった。

礼します。」と軽く頭を下げてから交番へ戻った。 なが といけないし、大変な仕事やな。」と独り言を言 それ 私は、「確かにいろいろ聞いて書類をつくらない ら型どおりの事務処理を済ませ、「それでは失 から、 ひったくりの犯人の検挙に至らないま (V

入った。それはマンション管理人からのもので、「独 私 が交番で警戒勤務中、 安否確認を求める通報 が

急車で病院へ搬送された。

ベッドに寝たままの状態で衰弱しており、

直ちに救

が寝室

0

とともにベランダから室内に入ると、女性

直ちに消防に通報し、

私が、

到着した消防隊員

ま二週間が過ぎた

居のお年寄りのポストが新聞でいっぱいになってい る。」というものであった。

に遭った女性の部屋であったからだ。 私はその通報場所を聞いて青ざめた。 ∇

ったくり

した。

中で倒れているかもしれません。」と思わず叫 かが落ちる音がした。「係長、中で音が聞こえました。 便受けのふたを開けたその時、中で「コトン」と何 夫ですか。」と名前を呼んだが返事がない。 そろえて置いてある。「××さん、××さん、 がない』玄関ドアの郵便受けから中を見ると、 のインターフォンを押してドアをたたいた。 い感覚のまま、とにかくマンションまで走り、 足が浮いているのか地に着いているのかわか 私は上司に報告し、すぐ交番を飛び出 再び郵 『 反 応 大丈 玄関 こらな 靴 が

上げると、交番の出入口にあの女性が立っていた。数日後、「ごめんください。」という声でふと顔を

「おまわりさんに助けてもらわなかったら私は死

とうございます。」女性はそう言って私に深々と頭んでいました。こうして元気になれました。ありが

を下げた。

て本当に良かったです。」と伝えた。私は椅子をすすめてお茶を出し、「またお話でき

うに思う。顔に何本も刻まれた深い皺を今でもハッこの時、私は初めてはっきりと女性の顔を見たよ

キリと覚えている。

あったこと。相談できる人もおらず、孤独で、死の金していたもので、銀行に預けに行く途中に被害にと。唯一の身内だった姉を最近病気で亡くしたこと。と。唯一の身内だった姉を最近病気で亡くしたこと。

うと思ったこと。

えて良かった。ありがとう。」と言った。そして、最後に「おまわりさんに話を聞いてもら

解できていなかった。 さい。」と。 か、全く考えていなかったんです。本当にごめんな 分かってい が恥ずかしいです。僕はおばあちゃんの事を何も理 ちゃん、ごめんなさい。僕は警察官をしている自分 かしくなった。 この時、 私は警察官の制服を着ている自分が なか そして席を立って言った。 った。 おばあちゃんの気持ちも何も 自分が誰のために働いている 「お ばあ 恥ず

ばってくださいね。」と言って交番を出た。人の力になってあげてください。これからもがんと世話をしているんですよ。おまわりさん、困っただ死ねません。今度、お花を見に来てください。ずっだ死ねません。今度、お花を見に来てください。ずっ

ちは。」と声をかけると、「元気ですよ。ありがとう。」やっている女性を見つけ、単車を止めた。「こんに警ら中、道路沿いのプランターに咲いた花に水を

ずっと世話をしていたという事を知った。年も前からこの場所にあるプランターに花を植え、という返事が返ってきた。立ち話の中で、女性は何

を見ていたのだろうか。」「何も見ていなかったのる。「自分は地域警察官として、今までこの町の何とこの女性とも何度もすれ違っていたはずなのであ私は今まで何度も何度もこの場所を通り、きっ

だ。」と自問自答した。

神的、 れる。 マ に 的ショックや身体の不調、 的な被害だけでなく、事件に遭ったことによる精神 る スコ よる経済的 犯 物や金品を盗まれる、 罪 3 時 の被害者やその 0) 蕳 取 的 材 負 な困窮、 担、 ・報道による二次被害にも苦しめら 周囲 搜査 家族は、 の人々 医療費の負担や失職 命を奪われるという直接 や裁判の過程に の無責任なうわさや 犯罪により負傷 おけ など る精 す

後には、被害者等はそのショックにより、考え方やなかでも精神的被害は深刻である。被害体験の直

価値観ががらっと変わり、「がんばっても良いこと 寄り添い、 すべての警察官が被害者の声に耳を傾け、 者に配慮した応対を心がける必要があると思う。 たりを感じるという。 はない、 の担当者だけ たような感覚に陥 希望をもてない。」など、幸せな世界が壊 いということではないだろうか。 い地域警察官は、特にこのことを十分理解し、 被害者支援は警察の本来業務であり、 自分はひとりぼっちだ、これからの人生に 被害者のために仕事をしなければならな が担う仕事 ŋ 直接被害者と接することの多 自分と周囲との間 では な () 大切なことは、 決して一部 れて に大きな隔 被害者に しま 被害 · つ

思う。

思う。
私はこの女性と出会って感得したことを忘れず、

泥だらけの手

警察署勤務 巡査部長 女性

から事情を聞いて欲しいと連絡を受けた。電話があり、少女が、強制わいせつの被害に遭った私が前任署に赴任して間もない夜、急に当直から

をどうしたらいいのだろう。」と緊張しながら刑事当時、私は性犯罪捜査の経験がほとんどなく、「何

課に向

かった。

制服を着た少女と母親らしき女性が立ち尽くしてい当直員に指示された部屋に入ると、部屋の隅に、

た。

で私の背筋に冷たいものが走った。り、その表情は不安と恐怖でこわばっており、一目り、その表情は不安と恐怖でこわばっており、一目少女の制服のブラウスは乱れ、髪はボサボサにな

にした犯人への怒りと、何も言葉をかけることがで自分の欲求を満たすためだけに、少女をこんな姿

こしまっこ。きない自分への情けなさで、私の思考と体は固まっ

王 一 てしまった。

私

が事情

聴取を行い

ながら、

鑑識係の女性警察

なったが、私は不安で頭がいっぱいだった。官の先輩が少女の体についた微物を採取することに

は、少女の声だけが響いていた。だ少女の話を事務的に聞くことしかできず、室内に私は少女にかける言葉を見つけられないまま、た

しくなっていった。

た。その場に似つかわしくない、緊張感のない声をあげその場に似つかわしくない、緊張感のない声をあげすると、作業をしていた先輩が、突然「おっ」と、

先輩の手には、泥だらけになった少女の小さい手が「すごいね、一生懸命戦った証だ。」そう言った

あった。

少女はこんなにも小さな手で、力任せに襲ってく

る男から必死で逃れようと抵抗したのだ。

う。 悔しく、恥ずかしく、怖くて仕方がなかっただろ

た。

くれている。 その直後にもかかわらず、こうして私に話をして

思った。 絶対にこの少女の力になりたい、心の底からそう

動揺していた母親の目にも、力が宿ったように感

じた。

わり、とりあえず私は彼女の話を聞くことができた。先輩の一言がきっかけとなり、室内の雰囲気は変

その後、少女には何度も署に足を運んでもらい、

た。

捜査に協力してもらった。

たが、話しかけると可愛い笑顔を見せてくれ、我慢少女は、大人しい性格で、あまり多くを語らなかっ

強く協力を続けてくれた。

この少女はしっかり者で、すごく芯の強い子なん

だ。

に、「おうちでの様子はいかがですか。」と聞いてみそう思い、毎回少女の付添いで来てくださる母親

少女は、無理をして毅然とした態度で捜査に協力夜一人で寝るのを怖がることを私に教えてくれた。んでいること、食事をあまりとらなくなったこと、

情けなかった。

してくれていたのだ。

かずにいられたのかと、心底悔しく、恥ずかしかっそんな当たり前のことに、なぜ今まで自分は気付

動のことや好きな本のこと、様々な話をした。寄り添えるよう、体調や心境のこと、ある時は部活

また、少女の母親ともこまめに連絡をとりあった。

16

いたことから、母親と少女の了解をもらい、少女が 少女は学校で過ごすことを、とても不安に感じて

普段から慕っている学校の女性教師と、連携をとり

ながら様子を見守ることにした。 そのことで具体的に何ができたわけではないが、

とが心強かったのか、 少女は学校に事情を分かってくれる味方ができたこ 数週間後には登校ができるま

に通い続けているらしかった。 男子生徒や男性教師が怖いようで、 保健室 でになった。

いまま、少女への申し訳なさだけが募った。 ひととおりの捜査が終わっても、犯人は分からな

生このまま男性を避けて生きていかなければなら あ のまじめで、 けなげで、 可愛い笑顔の少女が、

ないのかと思うと、 犯人が絶対に許せなかったが、

犯人 は数年後に捕まった。 私は何もできなかった。

犯人も少年だった。

わいせつ事件を連続で犯し、捕まった。 女子学生が下校しているところを襲うという強制

ことが分かったのだ。 犯人の供述から、少女の事件も一連の犯行だった

になった。」と取調べの中で犯人は語ったと聞 「あの女の子の時が一番うまくいって、それから癖

犯 あ 人が捕まった後、 の事件が始まりだった。 結局私は少女に連絡すること

ができなかった。

ないと思ったのだ。 何の役にも立てなかった自分には、 あるが、数年前の担当警察官が連絡してきたところ で、少女に嫌な記憶を思い出させてしまうだけで、 私自身が捜査部門の係にいなかったということも 連絡する権利も

を去ることになった。

少女の事件から数年後、

私は異動になり、

その地

きの順番待ちをする市役所のロビーで思い出し、 力不足で苦い経験ば かりだったことを、 転居手続 う

んですよね。」と私の旧姓を呼ぶ声が聞こえた。つむいたままボーッとしていると、ふいに「〇〇さ

舎には不似合いなくらい垢抜けた美しい女性が立っいきなり旧姓で呼ばれ、驚いて顔を上げると、田

のだ。

ていた。

付くまで、しばらくかかってしまった。その女性が、今まさに思い返していた少女だと気

た笑顔は、数年前と変わらない可愛さだった。しかし、「あの時はお世話になりました。」と言っ

告し合った。 偶然の再会に、しばらく夢中でお互いの近況を報

から、転居の手続きに市役所に来ていた。彼女は学校を卒業し、就職で引っ越しをすること

違っても全くぶれることはなかった。その後ろ姿は美しく凛としていて、男性とすれうございました。」そう言って彼女は帰っていった。です、担当が○○さんで良かった、本当にありがとであの時は、いろいろ助けてくださって嬉しかった

な状況で、担当した警察官に頼らざるをえなかったかった未熟な私だったが、彼女からするとあの過酷彼女にお礼を言われることなんて、何一つできな

に、そんなことは彼女は知るよしもない。と彼女の力になれる方法があったかもしれないの他にいくらでも優秀な警察官がいて、他にももっ

私が全てだったのだ。

な被害者支援に携わることになるか分からない。かろうが、警察官であり続ける限り、いつどのようりが、当直や連絡要員でな

れ全ての警察の代表となる。

担当した警察官は、被害者にとって、良かれ悪か

害者の心に寄り添える警察官であろうと思う。

まだまだ満足いく支援ができる自信はないが、

被

けの彼女の小さな手を、私はいつまでも忘れずにい「戦った証」と言って、先輩が手に取った泥だら

たい。

18

被害相談電話一覧表

被	害	相談電話	占一覧表		
		被害者の心の悩み	性犯罪	少年	交通事故
北海	道		0120-756310 011-242-0310 0120-677110	0120-677110	011-204-5220 <i>011-233-2543</i>
青	森		0120-897834 <i>017-777-8349</i>	0120-587867	017-782-5012
			(あおもり被害者) 性暴力被害専用相	支援センター 談電話) 	
岩	手		0120-797874	019-651-7867 0197-65-2400	019-652-4597
宮	城		022-221-7198 0120-556-460 (性暴力被害相談支	022-221-7867 022-222-4970	
秋	田		0120-028110	018-824-1212 018-831-3421	018-864-9110
Щ	形		023-615-7130	023-642-1777	023-655-6360
福	島		0120-503732 024-533-3940 (性暴力等被害救持 (SACRA ふくしま	0120-795110 024-526-1189 爰協力機関 ミ))	024-591-5038
警书	沪	03-3597-7830	03-3597-7830 (心の悩み)	03-3580-4970	03-3593-0941 <i>03-3592-1234</i>
茨	城		029-301-0278	029-231-0900 (少年サポートセン ター水戸) 029-847-0919 (少年サポートセン ターつくば)	029-247-3566
栃	木		028-625-2070	0120-874152	028-622-8483
群	馬	027-221-7777	027-224-4356 (女性相談者専用 027-329-6125 (群馬県性暴力サポートも		
埼	玉	0120-381858	0120-381858	048-865-4152 (保護者) 048-861-1152 (少年)	048-824-3050
Ŧ	葉		043-223-0110	0120-783497	043-271-8481
神奈	ξIJ		045-681-0110	0120-457867 045-641-0045	045-211-2574
新	澙		025-281-7890	025-285-4970 0258-36-4970 025-526-4970	025-285-3755
Щ	梨		055-224-5110	055-235-4444	055-233-0374 <i>055-280-5550</i>
長	野	026-234-8110	026-234-8110	026-232-4970	026-292-9750
静	岡		0120-783870	0120-783410	054-251-4765
富	山		0120-728730	0120-873415	076-444-4400
石	Ш		076-225-0281	0120-497556 076-225-0330	076-238-0496
福	#		0120-292170 0776-29-2110	0120-783214 0776-24-4970	0776-22-0465
		0120-870783	0120-870783	0120-783800	058-272-9110
岐	阜			0120-783802	058-271-5278

		被害者の心の悩み	性犯罪	少年	交通事故
Ξ	重		059-224-9110 059-253-4115	0120-417867	059-223-1331 059-223-1333
			(みえ性暴力被害者支	! 変援センター・よりこ) !	
滋	賀	077-521-8341	077-521-8341	077-521-5735 0749-52-0114	077-585-2750
京	都		075-411-0110	075-551-7500	075-411-0056 075-411-0057
大	阪		06-6941-0110	06-6944-7867	06-6941-6983
兵	庫	0120-338274	078-351-0110	0120-786109	078-371-2262
奈	良		0742-24-4110	0742-22-0110 0744-34-0110	0744-23-4400
和哥	九山		073-432-0110	073-425-7867	073-473-0110 <i>073-473-3249</i>
烏	取		0857-22-7110	0857-29-0808	0857-24-2110
島	根		0120-110267	0120-786719	0852-36-6338
岡	山		0120-001797	086-231-3741	086-224-3003
広	島		082-222-1989	082-228-3993	082-941-7700
Щ	П		0120-378387 083-932-7830	0120-495150 083-925-5150	083-973-2316
徳	島	088-656-8080	088-656-8080	088-625-8900 088-623-7324	088-624-7111
香	Ш		087-831-9110	087-837-4970 0877-33-3015	087-832-3137 087-806-0230
愛	媛	089-931-9110	089-931-9110	089-931-9110	089-931-9110 089-979-2101
高	知	088-871-3110	088-873-0110	088-822-0809	088-822-5877
福	岡	092-632-7830	092-632-7830	092-588-7830 092-841-7830 093-881-7830 0942-30-7867 0948-21-3751	092-641-8880
佐	賀		0952-28-4187	0120-297867	0952-26-9837
長	崎		0120-110874	0120-786714	095-824-1111
熊	本		0120-834381 096-384-1254	0120-024976 096-384-4976	096-333-2295 (県交通事故相談所)
大	分	097-534-9110	097-534-9110	097-532-3741	097-506-2166
宮	崎		0985-31-8740	0985-23-7867	0985-35-6231
鹿児	島		099-206-7867	099-252-7867	099-269-4493
沖	縄		098-868-0110	0120-276556 098-862-0111	098-851-7900

斜字体は交通安全活動推進センター

警察庁

警察庁 犯罪被害者支援室のホームページ http://www.npa.go.jp/higaisya/home.htm NPO 法人全国被害者支援ネットワーク http://www.nnvs.org

